



RM シリーズワイヤレスマイクロフォンシステム

マイクロフォンアクセスポイント

RM-WAP-16 RM-WAP-8

ワイヤレスマイクロフォン

RM-WOM RM-WDR RM-WGL RM-WGS

マイクロフォンチャージャー

RM-WCH-8

Web GUI デバイスマネージャー操作ガイド

目次

はじめに	4
本書の内容について	4
ソフトウェアのインターフェースについて	4
画面上の便利なアイコンについて	4
ソフトウェアの画面イメージと設定パラメーターの反映について	5
Web GUI RM-WAP デバイスマネージャーの画面ツリー	6
[HOME]	7
① [System Status]	7
② [LED Indication Status]	8
③ [Clock Synchronization Status]	8
④ [Microphone Charger Status]	9
⑤ [Microphone Status]	9
[SETTINGS]	11
[ADMIN]	11
① [Password Settings]	11
② [Security Settings]	11
③ [Deployment Server Settings]	12
④ [Syslog Settings]	12
[CHARGER]	13
① [Chargers]	13
[MICROPHONE]	14
① [Microphones]	14
[AUDIO]	19
① [Dante Channels Setup]	19
② [DECT Audio Mode]	19
[DECT]	20
① [DECT]	20
② [DECT Synchronization]	21
[NETWORK]	22
① [Network] - [IP Address Settings]	22
② [Network] - [AP Name Settings]	23
③ [Dante Network] - [IP Address Settings]	24
[REGION]	25
① [Time Settings]	25
② [Locale]	26
③ [Daylight Saving Settings]	26
[TOOLS]	28

[SITE SURVEY].....	28
① [Export History].....	29
② [Import History]	29
[UPDATE]	30
① [Firmware Update].....	31
② [Upload New Firmware]	32
[CONFIGURATION]	33
① [Export Configuration]	33
② [Import Configuration]	33
③ [Reset Defaults]	34
[LOGS]	35
① [Logs]	35

はじめに

本書は、ヤマハ RM シリーズワイヤレスマイクロフォンシステムの設定や操作を行うアプリケーションソフトウェア Web GUI RM-W デバイスマネージャーの機能や操作方法について説明するものです。

また、本書は「RM シリーズ ワイヤレスマイクロフォンシステム リファレンスマニュアル」の下位文書です。リファレンスマニュアルでは、機器の接続方法や取り扱いについて総合的に説明しています。あわせてお読みください。

本書の内容について

- このソフトウェアおよび操作ガイドの著作権は、すべてヤマハ株式会社が所有しています。
- このソフトウェアおよび操作ガイドの一部、または全部を無断で複製・改変することはできません。
- このソフトウェアおよび操作ガイドを運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- このソフトウェアおよび操作ガイドは、改良のため予告なしに変更されることがあります。
- このソフトウェアはタッチパネルによる操作の動作保証はしていません。
- この操作ガイドに掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。
- この操作ガイドに記載されている会社名および商品名等は各社の登録商標または商標です。
- この操作ガイドは発行時点での最新仕様で説明しています。最新版はヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

ヤマハウェブサイト

U.S.A. and Canada :

<https://uc.yamaha.com/support/>

Other Countries :





<https://download.yamaha.com/>

ソフトウェアのインターフェースについて

このソフトウェアは、コンピューターのブラウザアプリケーションを使用します。ブラウザ上に表示された設定画面を操作して機器を設定します。

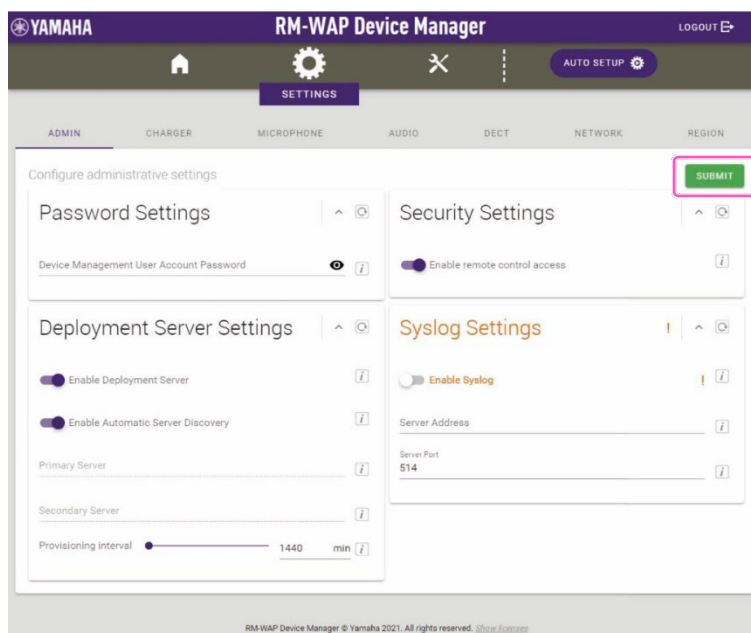
画面上の便利なアイコンについて

このソフトウェアの画面上には、機能の説明や機器の状態を知るのに便利なアイコンが用意されています。

	インフォメーションアイコン	マウスオーバーすると、その項目に関する詳細情報が表示されます。
	リロードアイコン	クリックすると画面の表示が更新されます。
	アイデンティファイアイコン	クリックすると該当する機器のインジケーターが点滅します。
	リンクアイコン	クリックすると、その項目に関する別の画面へ誘導されます。

ソフトウェアの画面イメージと設定パラメーターの反映について

デバイスマネージャー上で設定を変更したあとは、必ず[SUBMIT]ボタンをクリックしてください。[SUBMIT]ボタンは常に画面の右上に表示されます。



Web GUI RM-WAP デバイスマネージャーの画面ツリー

各画面の機能については右列に記載のページをお読みください。

メニュー	タブ	機能	ページ
[HOME]			
		[System Status]	7
		[LED Indication Status]	8
		[Clock Synchronization Status]	8
		[Microphone Charger Status]	9
		[Microphone Status]	9
[SETTINGS]			
[ADMIN]		[Password Settings]	11
		[Security Settings]	11
		[Deployment Server Settings]	12
		[Syslog Settings]	12
[CHARGER]		[Chargers]	13
[MICROPHONE]		[Microphones]	14
[AUDIO]		[Dante Channels Setup]	19
		[DECT Audio Mode]	19
[DECT]		[DECT]	20
		[DECT Synchronization]	21
[NETWORK]		[Network]	22
		[Dante Network]	24
[REGION]		[Time Settings]	25
		[Locale]	26
		[Daylight Saving Settings]	26
[TOOLS]			
[SITE SURVEY]		[Export History]	29
		[Import History]	29
[UPDATE]		[Firmware Update]	31
		[Upload New Firmware]	32
[CONFIGURATION]		[Export Configuration]	33
		[Import Configuration]	33
		[Reset Defaults]	34
[LOGS]		[Logs]	35

[HOME]

HOME 画面では、各種ステータス情報を確認できます。

Mic	Mate Group	Name	Identify	Type	IPEI	Link Quality	Audio	Dante Channel	Battery Status	Disconnect Time	Connect Time	FW Update Status
1	-	01-RM-WGS-0357038250	✖	GS	0357038250	+		1		-	02:24:56 pm 01/14/2022	✓
2	-	02-RM-WGL-035700BAC8	✖	GL	035700BAC8	+		2		-	02:24:59 pm 01/14/2022	✓
3	-	03-RM-WDM-035700D2E0	✖	DM	035700D2E0	+		3	99%	-	02:27:57 pm 01/14/2022	✓
4	-	04-RM-WDR-035700D688	✖	DR	035700D688	+		4	100%	-	02:27:52 pm 01/14/2022	✓

① [System Status]

アクセスポイントの基本情報が表示されます。

System Status

Hostname: Y001-Yamaha-RM-WAP-8-a28e16

RFPI: 035700D800

MAC Address: ac:44:f2:a2:8e:16

Network IP Address: 169.254.7.181

Model: RM-WAP-8

Main / Dante / Dect Version: 1.7.12b.125 / 4.2.6.4 / 107

Serial Number: Z6K000103

Region: Japan

項目

内容

Hostname

ホスト名が表示されます。

RFPI

DECT 通信用のアクセスポイントの識別番号が表示されます。
RFPI (Radio Fixed Part Identity)

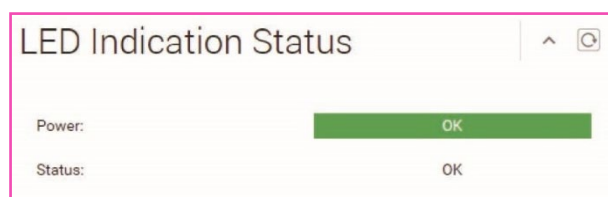
MAC Address

MAC アドレスが表示されます。

Network IP Address	ネットワーク IP アドレスが表示されます。
Model	モデル名が表示されます。
Main / Dante / Dect Version	本機 / Dante / Dect のバージョンが表示されます。
Serial Number	シリアル番号が表示されます。
Region	本製品を使用できる国または地域が表示されます。

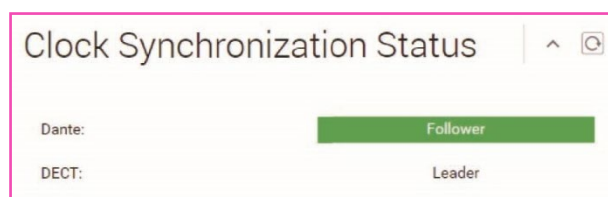
② [LED Indication Status]

アクセスポイントのインジケータの状態が表示されます。



項目	表示	本製品の状態
Power	[OK] 緑色	起動している
Status	[OK] 白色	通常状態
	[Firmware Updating] 白色	ファームウェアをアップデートしている
	[Pairing] 青色	ペアリング待機状態 / ペアリングしている
	[Identify] 赤色	アイデンティファイ機能に応答している

③ [Clock Synchronization Status]



項目	内容
Dante	Dante のワードクロックの状態が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • [Leader] • [Follower] ワードクロックに異常がある場合は橙色で表示されます。
DECT	DECT フレームの同期の状態が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • [Leader] • [Follower]

複数台のアクセスポイントを同じグループに設定している場合、1台が Leader になり、その他は Follower になります。アクセスポイントのグループ設定は、[SETTINGS] > [DECT] > [DECT Synchronization]で設定します。

④ [Microphone Charger Status]

チャージャーの名称が表示されます。

Charger Name	IPEI	FW Status
1 01-RM-WCH-8-0357026748	0357026748	✓

項目

内容


Charger Name

チャージャーの名称が表示されます。

IPEI










DECT モジュールの識別番号です。
IPEI (International Portable Equipment Identity)

FW Status

ファームウェアのアップデート状態が表示されます。
ファームウェアのアップデートが必要な場合は、が表示されます。
ファームウェアのアップデートは、[TOOLS] > [UPDATE] > [Firmware Update]で行えます。

⑤ [Microphone Status]

マイクロフォンの状態が表示されます。

Mic	Mute Group	Name	Identify	Type	IPEI	Link Quality	Audio	Dante Channel	Battery Status	Disconnect Time	Connect Time	FW Update Status
1	-	01-RM-WGS-035703B250		GS	035703B250			1		-	02:24:56 pm 01/14/2022	✓
2	-	02-RM-WGL-035700BAC8		GL	035700BAC8			2		-	02:24:59 pm 01/14/2022	✓
3	-	03-RM-WOM-035700D2E0		OM	035700D2E0			3	99%	-	02:27:57 pm 01/14/2022	✓
4	-	04-RM-WDR-035700D6B8		DR	035700D6B8			4	100%	-	02:27:52 pm 01/14/2022	✓

項目

内容

Mic

マイクロフォン番号が表示されます。

Mute Group

マイクロフォンのグループミュート機能に使用するグループ番号が表示されます。

Name

マイクロフォンの名称が表示されます。
マイクロフォンの名称は、[SETTINGS] > [MICROPHONE] > [Microphone Name]で変更できます。

Type

マイクロフォンのタイプが表示されます。

- [OM] (Omni) : 無指向
- [DR] (Directional) : 単一指向

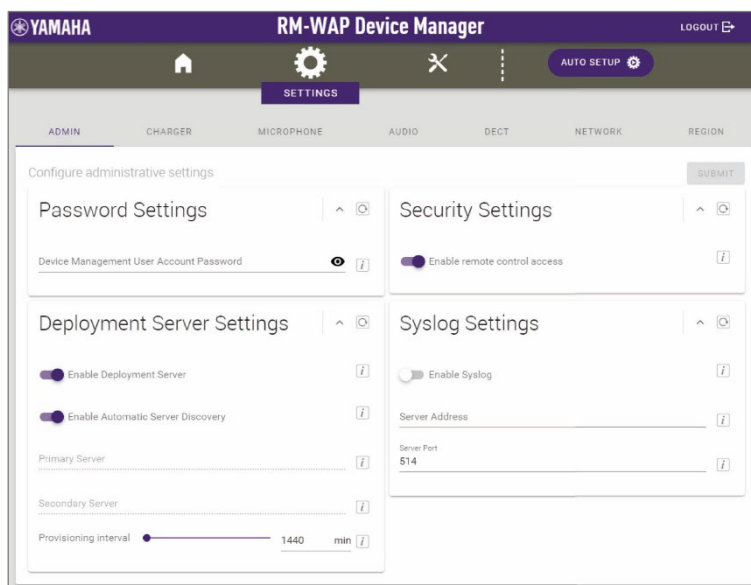
- [GL] (Gooseneck Long) : グースネック(ロング)
- [GS] (Gooseneck Short) : グースネック(ショート)

IPEI	DECT モジュールの識別番号です。 IPEI (International Portable Equipment Identity)
Link Quality	電波の強度がアンテナの数による 4 段階で表示されます。 緑アンテナ 3 本：電波強度 -50dBm 以上 橙アンテナ 2 本：電波強度 -70dBm ~ -50dBm 橙アンテナ 1 本：電波強度 -70dBm 以下 白アンテナ 0 本：切断状態
Audio	アイコンをクリックするとマイクロフォンの ON/OFF を切り替えることができます。
Dante Channel	Dante チャンネルが表示されます。
Battery Status	バッテリーの残量が%と色で表示されます。 赤：3% ~ 10%、1 時間 ~ 3 時間 黄：10% ~ 50%、3 時間 ~ 15 時間 緑：50%以上、15 時間以上
Disconnect Time	マイクロフォンとアクセスポイントが切断した時刻が表示されます。
Connect Time	マイクロフォンとアクセスポイントが接続した時刻が表示されます。
FW Update Status	ファームウェアのアップデート状態が表示されます。 ファームウェアのアップデートが必要な場合は、  が表示されます。 ファームウェアのアップデートは、[TOOLS] > [UPDATE] > [Firmware Update]で行えます。

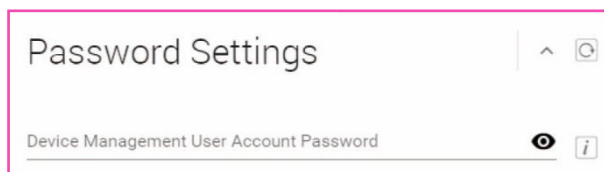
[SETTINGS]

[ADMIN]

ADMIN 画面では、システム管理の設定をします。



① [Password Settings]



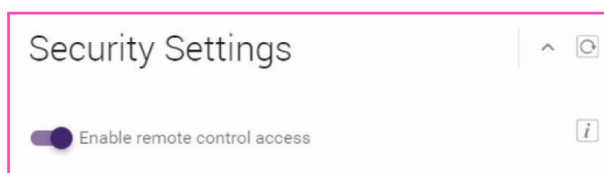
項目

内容

Device Management User Account Password

RM-WAP デバイスマネージャーにログインするためのパスワードを設定します。(4文字以上16文字以下の英数字)

② [Security Settings]



項目

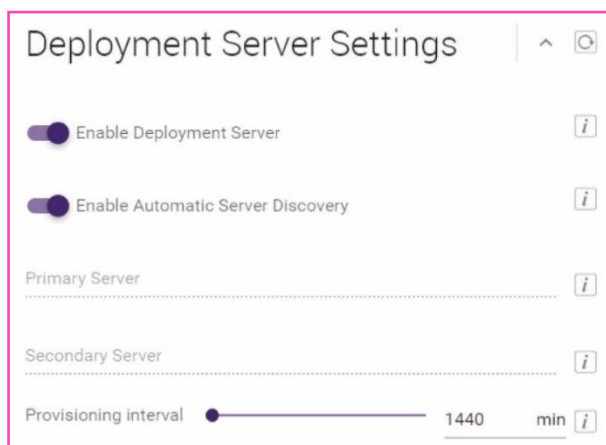
内容

Enable remote control access

リモートコントロールを有効にするかどうかを選択します。アクセスポイントを RM-CR と連携させるときは、必ず有効にしてください。リモートコントロールの詳細は「RM シリーズ リモートコントロールプロトコル仕様書」を参照してください。

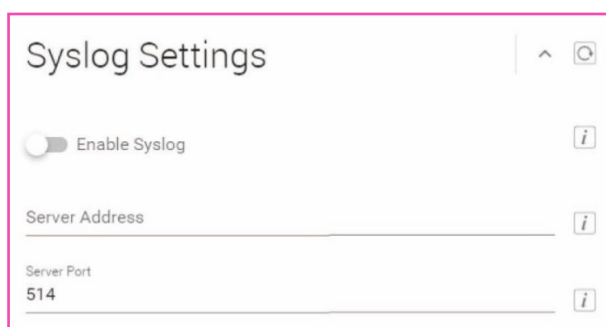
③ [Deployment Server Settings]

デプロイメントサーバーを使用すると、機器の設定ファイルを自動で取得して機器に反映できます。



項目	内容
Enable deployment server	デプロイメントサーバーを使用するかどうかを選択します。 初期設定：有効
Enable automatic server discovery	デプロイメントサーバーの自動検出機能を使用するかどうかを選択します。 使用しない場合は、デプロイメントサーバーの IP アドレスを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Primary server] • [Secondary server] 初期設定：有効
Provisioning interval	デプロイメントサーバーへのプロビジョニング実行間隔を分単位で設定します。 初期設定：1,440 分（1 日） 設定範囲：0～44,640 分（31 日）

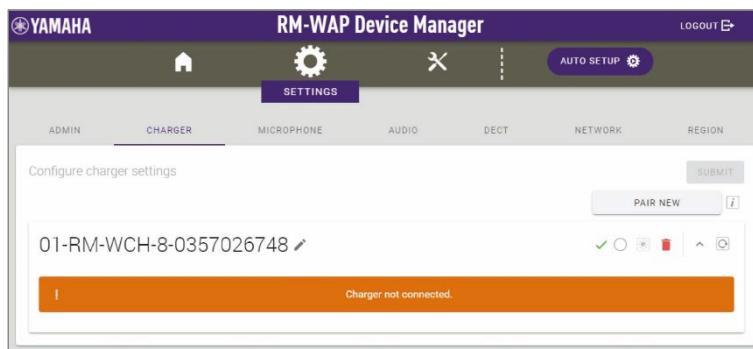
④ [Syslog Settings]



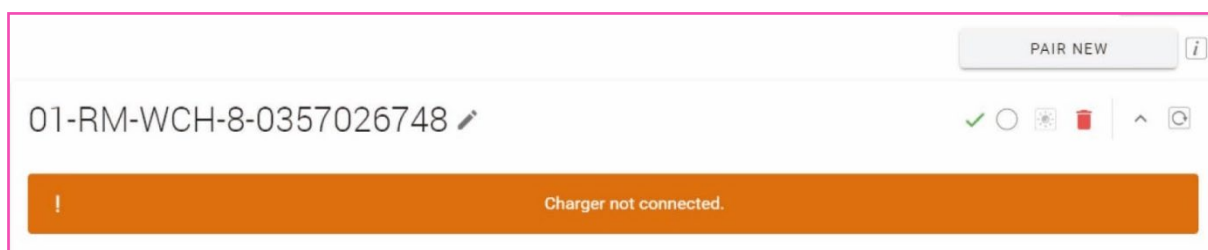
項目	内容
Enable Syslog	Syslog サーバーを使用するかどうかを選択します。 使用する場合は、以下を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [Server Address] • [Server Port]（初期設定：514）

[CHARGER]

CHARGER 画面では、アクセスポイントとチャージャーをペアリングおよび接続します。



① [Chargers]



項目

内容

PAIR NEW

クリックするとアクセスポイントをペアリング待機状態にします。続いてペアリングするにはチャージャー底面の PAIR ボタンを 2 秒以上長押しします。ペアリングが完了すると画面にチャージャーの名称が表示されます。

チャージャーの名称

チャージャーの名称を設定します。
チャージャーの名称を変更するには、✎ をクリックします。

【○】 / 【●】

クリックするとチャージャーの接続状態を切り替えることができます。

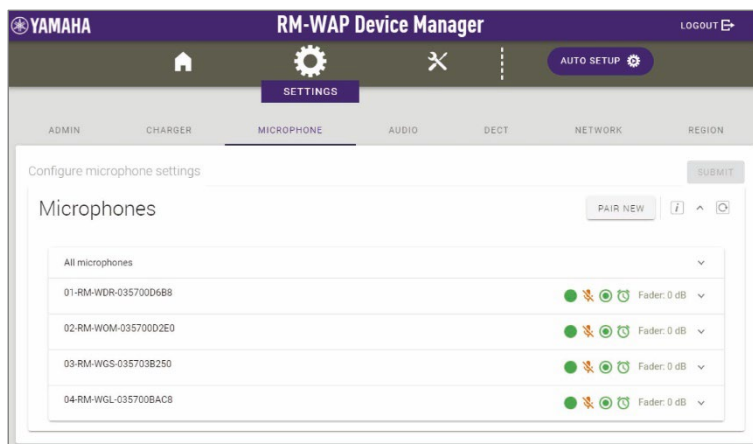
- 【○】：切断
- 【●】：接続



クリックするとチャージャーのペアリングを解除します。

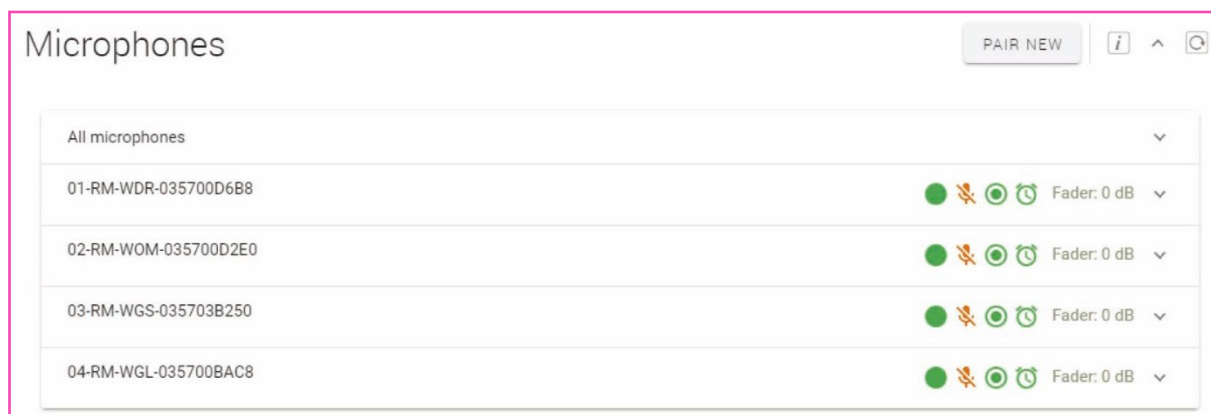
[MICROPHONE]

MICROPHONE 画面では、アクセスポイントとマイクロフォンをペアリングします。



① [Microphones]

- アクセスポイントとマイクロフォンとをペアリングできます。



項目

内容

PAIR NEW

クリックするとアクセスポイントをペアリング待機状態にします。
続いてペアリングするにはマイクロフォン底面の PAIR ボタンを 2 秒以上長押ししてください。ペアリングが完了すると画面にマイクロフォンの名称が表示されます。

Start Mode

マイクロフォンをチャージャーから外した時やバッテリーを装着した時の起動モードが表示されます。

- : スタートアップモードで起動します。
- : スタンバイモードで起動します。

Start Mute Mode

マイクロフォンが RM-WAP とワイヤレス接続を確立したときのミュートモードが表示されます。

- 🔇 : マイクロフォンがオフで起動します。
- 🔊 : マイクロフォンがオンで起動します。

Mic Button Behavior

Mic ボタンの操作方法が表示されます。

- 🔄 : Mic ボタンが Toggle モードで動作します。

Mic ボタンにタッチすることでマイクロフォンのオン / オフが切り替わります。

- : Mic ボタンが Push to talk モードで動作します。
Mic ボタンにタッチしている間だけマイクロフォンがオンになります。同時に複数のデバイスが発信することはできません。
- : Mic ボタンによる操作が無効です。
Mic ボタンによる操作が無効になります。

Alarm when out of area

マイクロフォンが DECT 接続の圏外にあることを、Mic インジケータの点滅によって確認できるようにする設定が表示されます。

- : DECT 接続の圏外アラーム設定が有効です。
- : DECT 接続の圏外アラーム設定が無効です。

Fader Level

マイクロフォンのフェーダーレベルが表示されます。
設定範囲：-128dB ~ +12dB

- マイクロフォンの名称が表示された行をクリックすると設定用の画面が展開します。

- マイクロフォンの設定内容を確認 / 変更できます。

項目

内容

Microphone Name

マイクロフォンの名称を設定します。

Group

マイクロフォンをグルーピングできます。グルーピングすると同じグループ番号の中でマイクロフォンのオン / オフが同期します。RM-CR と組み合わせて使う環境でグループミュート機能を使用するには、RM-CR の[SETTINGS] > [Peripheral] > [DEVICE SETTINGS] > [Enable microphone group mute control]を有効に設定してください。初期値は無効です。

Start Mode

マイクロフォンをチャージャーから外したときやバッテリーを装着したときの起動モードを選択します。

- [START UP]
- [STANDBY]

Start Mute Mode	<p>マイクロフォンが RM-WAP とワイヤレス接続を確立したときのミュートモードを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [MUTE ON] • [MUTE OFF]
Mic Button Behavior	<p>Mic ボタンの操作方法を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [TOGGLE] • [PUSH TO TALK] (RM-WGL / RM-WGS のみ対応) • [DISABLE]
Alarm when out of area	<p>マイクロフォンが DECT 接続の圏外にあることを、Mic インジケータの点滅によって確認できるようにするかどうかを選択します。</p>
Fader Level	<p>マイクロフォンのフェーダーレベルを設定します。 設定範囲：-128dB ~ +12dB</p>
High Pass Filter	<p>High Pass フィルターの設定を選択します。 [None / 110 Hz / 140 Hz / 175 Hz / 225 Hz]</p>
Low Pass Filter	<p>Low Pass フィルターの設定を選択します。 [None / 4 kHz / 8 kHz / 12 kHz]</p>
	<p>クリックするとペアリングを解除します。</p>



項目

内容

Low Latency	<p>Low Latency を有効にすると、以下の Advanced Audio Settings の処理をバイパスでき、音声の遅延を抑えることができます。 Input Gain、Adaptive Echo Canceller、Noise Reduction、Dereverberation、AGC、PEQ。 RM-CR と組み合わせて使用する場合は、Low Latency を無効に設定してください。 初期設定：無効</p>
--------------------	--

Input Gain	マイクロフォンの入力ゲインを設定します。 [Off (0 dB) / Low (6 dB) / Medium (12 dB) / High (18 dB)]
Adaptive Echo Canceller	遠隔会議時に問題となるスピーカーからの回り込みや壁の反射によって発生するエコーや空調などの恒常的なノイズを除去する機能です。エコーキャンセラーのかかり具合の強さを選択します。 <ul style="list-style-type: none">• [Off] : エコーキャンセラーを使用しません。• [Low] : 元となる音声の音質を維持しながらエコーを抑制します。• [Medium] : (初期設定) バランスの良い音質とエコーキャンセルの強さの設定です。• [High] : エコーキャンセラーが強く働きます。残響音が長い部屋やエコーが発生しやすい部屋の場合に選択してください。
Noise Reduction	定常ノイズに対するノイズリダクションの強さを選択します。 <ul style="list-style-type: none">• [Off] : ノイズリダクションを使用しません。• [Low] : 元となる音声の音質を維持しながら、定常ノイズを抑制します。• [Medium] : (初期設定) バランスの良い音質とノイズリダクションの強さの設定です。• [High] : ノイズリダクションが強く働きます。大きなファンや空調システムの定常ノイズが大きい部屋の場合に選択してください。
Dereverberation	残響成分が含まれる音声から残響成分を差し引いて明瞭な音声にする機能です。残響成分を除去する強さを選択します。 <ul style="list-style-type: none">• [Off] : 残響抑圧機能を使用しません。• [Low] : 残響音が短い部屋の場合に選択してください。• [Medium] : (初期設定) 通常の使用環境で利用できる設定です。バランスの良い音質と残響抑圧の強さの設定です。• [High] : 残響抑圧が強く働きます。ガラス張りの部屋などの残響時間が長い部屋の場合に選択してください。
AGC Type	AGC (Auto Gain Control) は、音声レベルを安定させるために出力ゲインを自動的に調整する機能です。小さい声の音量レベルを上げ、大きすぎる声の音量を下げます。AGC のかかり具合の強さを選択します。 <ul style="list-style-type: none">• [Off] : AGC を使用しません。• [Low] : (初期設定) バランスの良い音量変化の設定です。• [High] : AGC が強く働きます。
AGC Speed	AGC の音量変更に対する反応速度を選択します。

- [Low]：（初期設定）
バランスの良い反応速度です。
- [High]：
音量変更に素早く反応します。



項目

内容

Enable PEQ

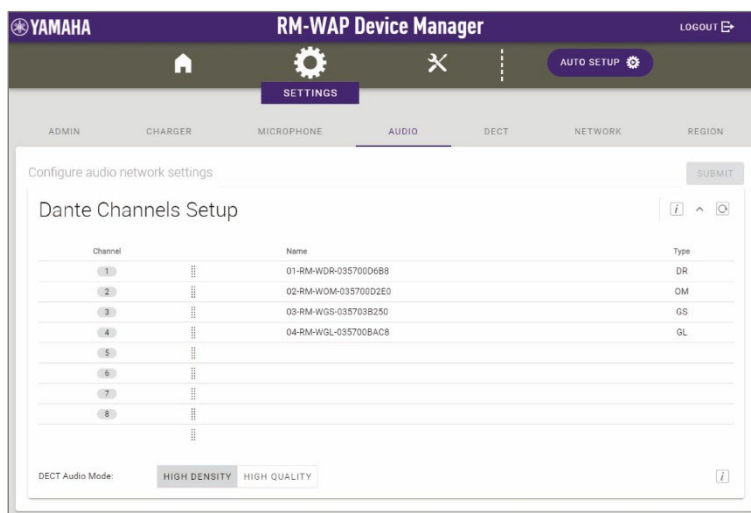
PEQ (Parametric EQ) を有効にするかどうかを選択します。RM-CR 以外のプロセッサと組み合わせて使用する場合に効果を発揮します。

Band / Type / Q / Frequency / Gain / Bypass

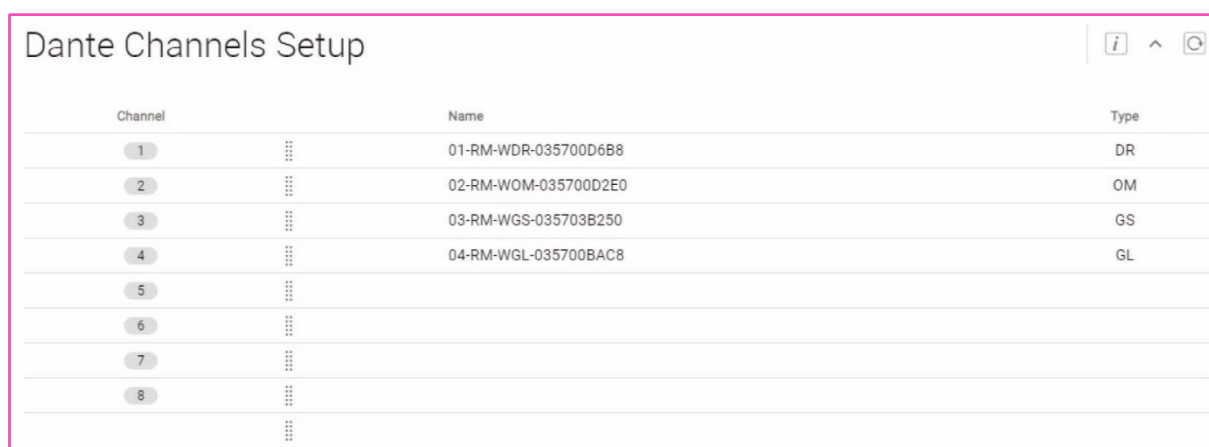
6 バンドの PEQ をバンドごとに設定します。Band A と Band F の Type は、PEQ、L.SHELF-6dB/Oct、L.SHELF-12dB/Oct、H.SHELF-6dB/Oct、H.SHELF-12dB/Oct、HPF、LPF の中から選択できます。

[AUDIO]

AUDIO 画面では、マイクروفンの Dante チャンネル割り当てや DECT の音声品質モードを設定します。



① [Dante Channels Setup]



マイクフォンが割り当てられている Dante チャンネルを確認します。

マイクフォンの名称部分をドラッグし、任意の Dante チャンネルの行にドロップすると割り当てを変更できます。

② [DECT Audio Mode]

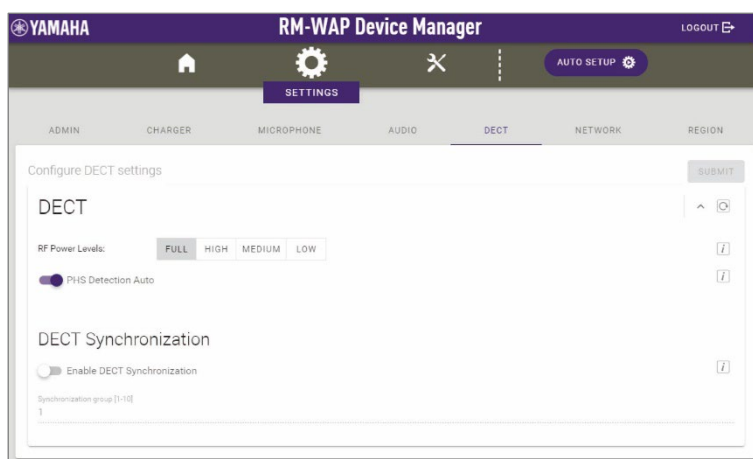


アクセスポイントを High Density モードにするか、High Quality モードにするかを選択できます。

High Density モードと比べて High Quality モードの方が、音声品質が高いですが、最大で利用できるマイクフォンの数が少なくなることがあります。

[DECT]

DECT 画面では、DECT の通信に関する設定をします。



① [DECT]



項目

内容

RF Power Levels

電波強度を選択します。
距離は、おおよその最大通信距離です。環境によって異なる場合があります。

- [FULL] : 63.9m
- [HIGH] : 29.6m
- [MEDIUM] : 13.7m
- [LOW] : 6.34m

PHS Detection Auto

PHS を自動で検出するかどうかを選択します。
有効にした場合は、PHS が検出されない限り、RM-WAP はキャリア 3 と 4 をマイクロフォンシステムに使用します。
無効にした場合は、RM-WAP は PHS システムが使用する可能性があるキャリア 3 と 4 を使用しません。

② [DECT Synchronization]



項目

内容

Enable DECT Synchronization

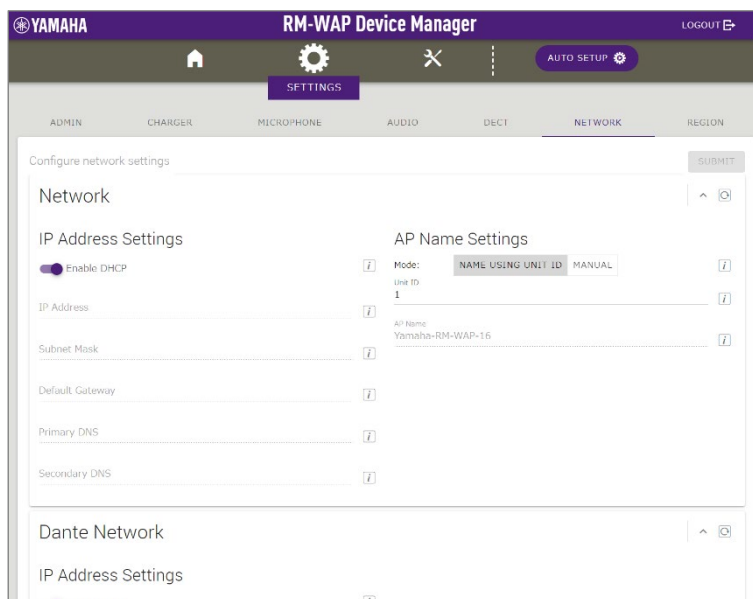
複数のアクセスポイント間で DECT のフレームを同期させるかどうかを選択します。

同期させることにより、利用可能な DECT チャンネル数が最適化され、グループ化されたシステム間の DECT 干渉が減少します。

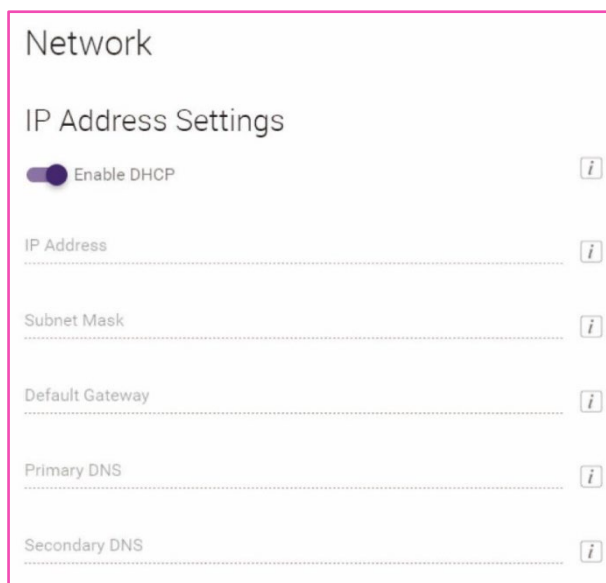
同期させる場合は、有効にして、同期させたい機器を同一の [Synchronization group] に設定します。

[NETWORK]

NETWORK 画面では、本製品を使用するネットワークの設定をします。



① [Network] - [IP Address Settings]



項目

内容

Enable DHCP

DHCP を使用するかどうかを選択します。

DHCP を使用するに設定した場合に、DHCP サーバーが存在しないときは Auto IP モードによる IP アドレスが設定されます。誤って設定をしてしまった場合は、RM-WAP 前面の Reset ボタンでネットワーク関連の設定をリセットしてください。

静的 IP アドレスを割り当てる場合は、[Enable DHCP]を無効にして、以下のように静的 IP アドレスを設定します。(XXX.XXX.XXX.XXX の形式で入力してください。)

- [IP address]
- [Subnet mask]

- [Default gateway]
- [Primary DNS]
- [Secondary DNS]

② [Network] - [AP Name Settings]

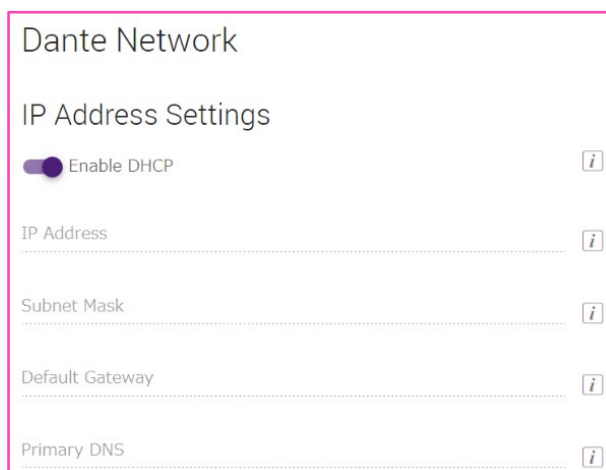
本製品のホスト名を自動または手動で設定できます。

ホスト名は、RM Device Finder、SNMP、Dante 上で機器の名称として使用されます。

項目	内容
Mode	<p>ホスト名についてユニット ID を使って自動で設定するか、手動で設定するかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [NAME USING UNIT ID] (自動) : ユニット ID とモデル名と MAC アドレスの一部から自動で生成されます。生成されたホスト名は、[HOME] > [System Status]で確認できます。 例 : Y001-Yamaha-RM-WAP-16-a28fca • [MANUAL] (手動) : 手動で設定します。[AP Name]欄に入力します。
Unit ID	<p>ユニット ID を設定します。16 進数 (半角) で入力します。 [MANUAL]選択時は、使用されません。</p>
AP Name	<p>[NAME USING UNIT ID]選択時は、自動で生成されたホスト名が表示されません。 [MANUAL]選択時は、ホスト名を入力します。Dante ホスト名は、このホスト名に Dante の MAC アドレスの一部を加えたものになります。</p>

③ [Dante Network] - [IP Address Settings]

Dante を使用するネットワークを設定できます。



Dante Network

IP Address Settings

Enable DHCP i

IP Address i

Subnet Mask i

Default Gateway i

Primary DNS i

項目

内容

Enable DHCP

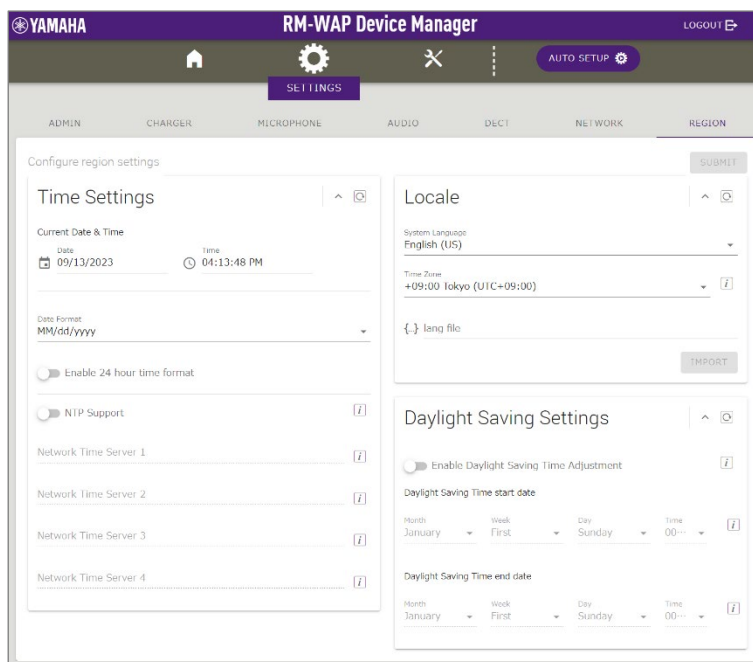
DHCP を使用するかどうかを選択します。

静的 IP アドレスを割り当てる場合は、[Enable DHCP]を無効にして、以下のよう
に静的 IP アドレスを設定します。(XXX.XXX.XXX.XXX の形式で入力してください。)

- [IP address]
- [Subnet mask]
- [Default gateway]
- [Primary DNS]

[REGION]

REGION 画面では、本製品を使用する地域や時間に関する設定をします。



① [Time Settings]

Time Settings

Current Date & Time

Date: 09/13/2023 Time: 04:13:48 PM

Date Format: MM/dd/yyyy

Enable 24 hour time format

NTP Support

Network Time Server 1

Network Time Server 2

Network Time Server 3

Network Time Server 4

項目

内容

Current Date & Time

日時を設定します。

Date Format

日付の表示形式を選択します。

Enable 24 hour time format

24 時間表示形式にするかどうかを選択します。

NTP Support

NTP (Network Time Protocol) を使用するかどうかを選択します。
NTP を使用する場合は、Network Time Server の URL を設定します。
NTP を使用すると、インターネット経由で正確な時刻を取得できます。この時刻はログデータに使用され、システムの管理/監視/トラブルシューティング時に有効です。
初期設定：有効

② [Locale]

項目

内容

System Language

インフォメーションアイコンにマウスを重ねると、その項目に関する詳細情報がポップアップ表示されます。表示に使用する言語を選択します。初期設定は、English (US)です。[Custom]に変更することもできます。[Custom]を使用するには、[{...} lang file]で言語ファイルをインポートする必要があります。

- English (US)
- Custom

Time zone

タイムゾーンを選択します。

{...} lang file

インフォメーションアイコンで表示する言語の言語ファイルをインポートします。

③ [Daylight Saving Settings]

項目

内容

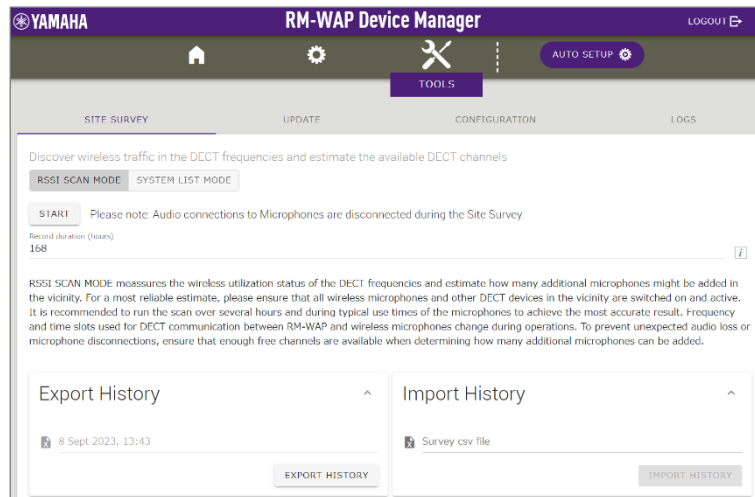
Enable Daylight Saving Time Adjustment

本製品をサマータイムに対応させるかどうかを選択します。
有効にする場合は、サマータイムの開始日時と終了日時を設定します。
初期設定：無効

[TOOLS]

[SITE SURVEY]

[START]ボタンをクリックするとアクセスポイントが設置環境の電波強度とチャンネルの使用状況を測定します。



ご注意

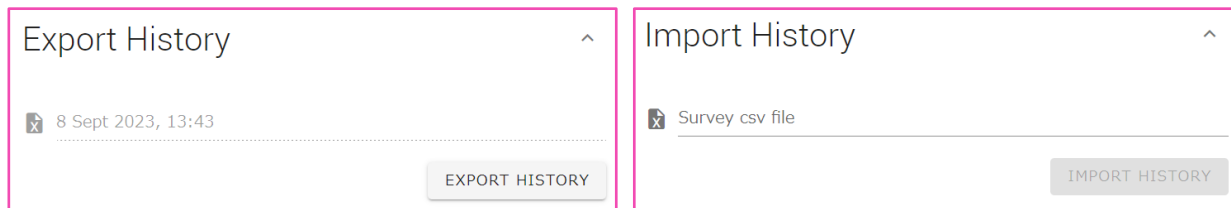
電波干渉が発生した場合、予期せずマイクロフォンの音声が無音になったり、マイクロフォンの接続が切断されたりすることがあります。設置前に十分に調査することをおすすめします。

お知らせ

[SITE SURVEY]画面の読み方については、「RM シリーズ ワイヤレスソリューション リファレンスマニュアル」の解説「SITE SURVEY 画面の読み方」を参照してください。

SITE SURVEY の結果の EXPORT と IMPORT

SITE SURVEY の結果をファイルとして保存したり、保存したファイルを読み込んで表示したりできます。



① [Export History]

SITE SURVEY の結果をファイルとして保存できます。

項目

内容

EXPORT HISTORY

保存先を指定して、SITE SURVEY の結果をファイルに保存します。

② [Import History]

SITE SURVEY の結果ファイルを読み込むことができます。

項目

内容



SITE SURVEY の結果ファイルを選択します。

IMPORT HISTORY

選択した SITE SURVEY の結果ファイルを読み込みます。
SITE SURVEY の結果が表示されます。

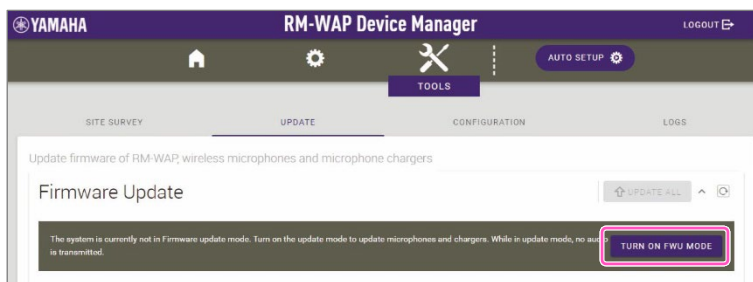
[UPDATE]

UPDATE 画面では、アクセスポイント、マイクロフォン、チャージャーのファームウェアをアップデートできます。

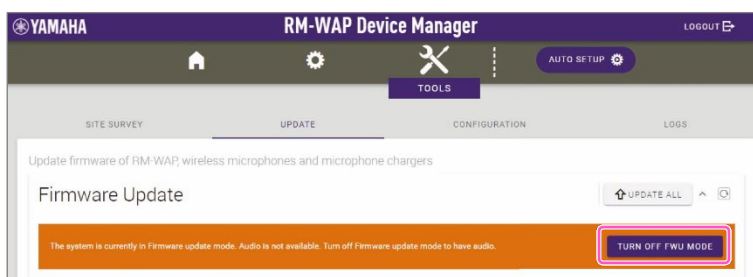
マイクロフォンとチャージャーのファームウェアは、アクセスポイントのファームウェアに含まれています。はじめにアクセスポイントのファームウェアをアップデート（Upload New Firmware）してください。

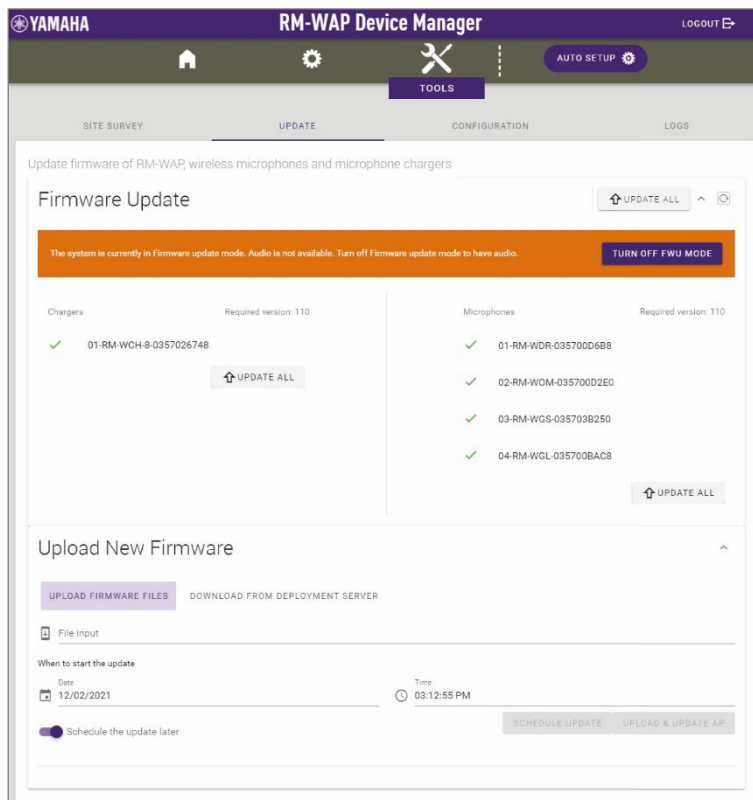
i お知らせ

- ファームウェアをアップデートする前には必ず[TURN ON FWU MODE]ボタンをクリックしてください。



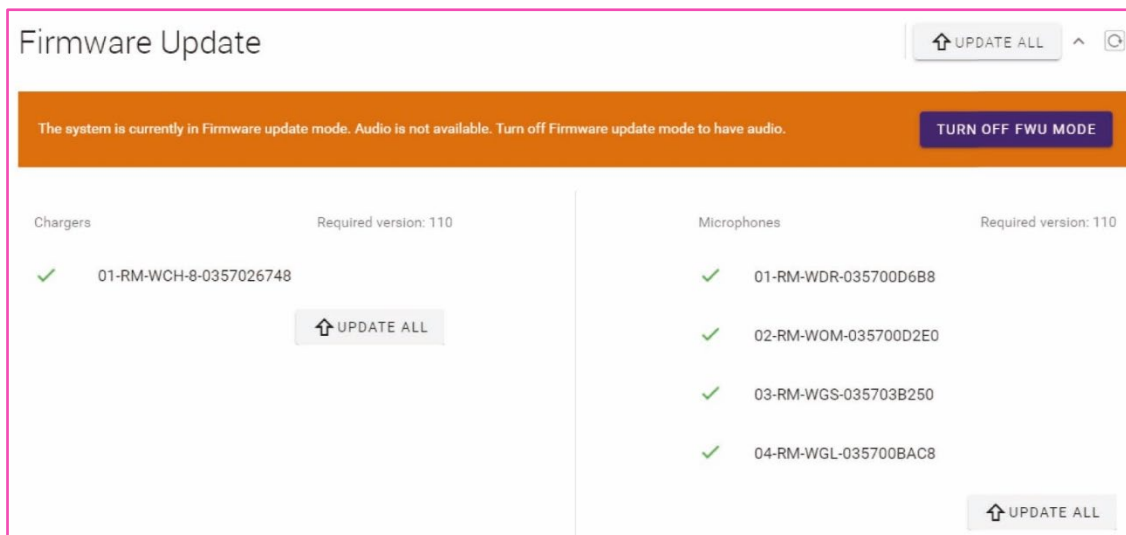
- ファームウェアをアップデートしたあとは必ず[TURN OFF FWU MODE]ボタンをクリックしてください。





① [Firmware Update]

チャージャーおよびマイクロフォンのファームウェアをアップデートできます。



項目

UPDATE ALL

内容

クリックするとチャージャーおよびマイクロフォンのファームウェアをアップデートできます。

チャージャーおよびマイクロフォンとアクセスポイントとを事前にペアリングしておく必要があります。ペアリングの方法は、13、14 ページを参照してください。

② [Upload New Firmware]

アクセスポイントのファームウェアをアップデートできます。

項目

内容

UPLOAD FIRMWARE FILES

任意のファームウェアを使用するモードです。

📁 (File input) アイコンをクリックして任意のファームウェアを選択します。任意のファームウェアを下線部に直接ドラッグ&ドロップすることもできます。アップデートを実施するには[UPLOAD & UPDATE AP]ボタンをクリックします。

DOWNLOAD FROM DEPLOYMENT SERVER

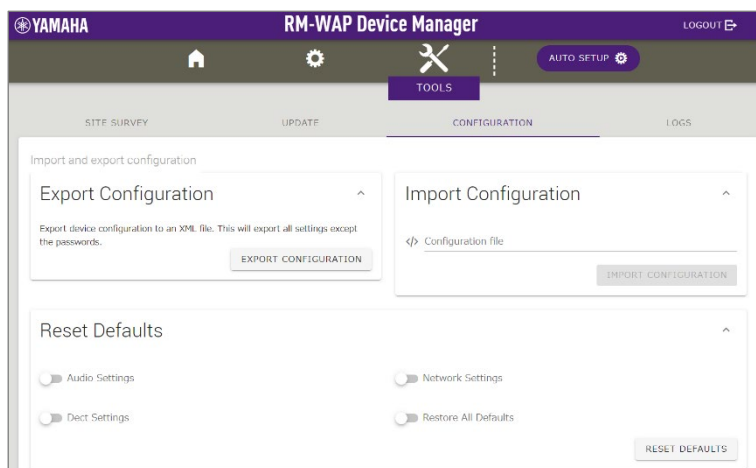
デプロイメントサーバーからダウンロードしたファームウェアを使用するモードです。[CHECK NOW]ボタンをクリックして使用可能なファームウェアがあるかを確認します。アップデートを実施するには[UPDATE AP]ボタンをクリックします。

Schedule the update later

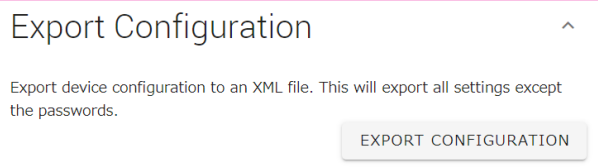
アップデートが任意の時刻に自動で実施されるように設定します。アップデートを開始する日時を指定し、[SCHEDULE UPDATE]ボタンをクリックします。

[CONFIGURATION]

CONFIGURATION 画面では、本製品の設定をエクスポート、インポート、リセットできます。



① [Export Configuration]



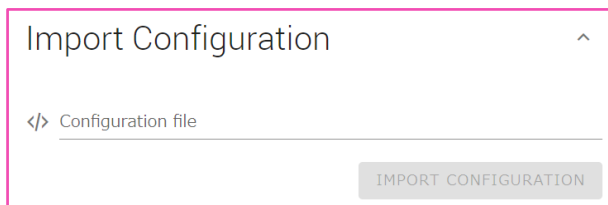
項目

EXPORT CONFIGURATION

内容

クリックすると本製品の設定をエクスポートします。

② [Import Configuration]



項目

IMPORT CONFIGURATION

内容

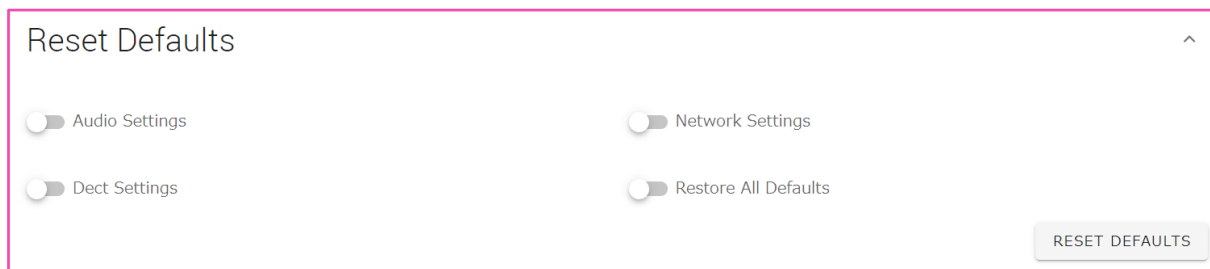
クリックすると本製品の設定をインポートします。

</> をクリックして任意の設定ファイルを選択し、[IMPORT CONFIGURATION]ボタンをクリックします。

お知らせ：

- インポート用の設定ファイルは①でエクスポートしたものを編集して作成してください。
- 任意の設定ファイルを下線部にドラッグ&ドロップすることもできます。

③ [Reset Defaults]



項目

内容

RESET DEFAULTS

クリックすると設定をリセットします。

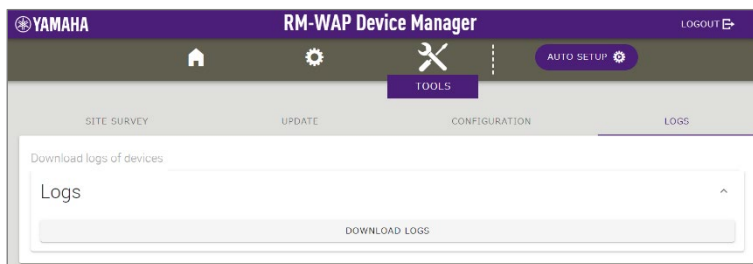
- [Audio Settings]：オーディオ設定をリセットする
- [Dect Settings]：DECT 設定をリセットする
- [Network Settings]：ネットワーク設定をリセットする
- [Restore All Defaults]：工場出荷設定に戻す

ご注意

リセットする設定を確認の上、実行してください。

[LOGS]

LOGS 画面では、ログをダウンロードできます。



① [Logs]



項目

DOWNLOAD LOGS

内容

クリックするとログをダウンロードします。
ログには、エラーや警告、アクションが記録されます。

お知らせ：アラートログの表示が意味する内容および推奨される対策については、リファレンスマニュアルのアラートログ一覧を参照してください。

